



「くまもと花博」の公式テーマソングを 発表しました！

今年3月～5月に熊本で開催される「くまもと花博*」の公式テーマソングが、熊本県出身のアーティストLeola(レオラ)さんの新曲「GIFT」に決定しました。「GIFT」は、くまもと花博のために書き下ろしていただいたものです。


くまもと花博開催100日前にあたる12月9日(木)に「クリスマスマーケット熊本2021 in JR熊本駅」のオープニングセレモニーのステージでLeolaさんに「GIFT」を初披露していただきました。

36年ぶりに熊本で開催される“日本最大級の花とみどりの祭典”であるくまもと花博のテレビCMや期間中の会場でのBGMとして、たくさんのお花が咲き誇る会場に彩りを添えていただきます。



曲の試聴はこちらから➡ 

【公式TikTok (<https://vt.tiktok.com/ZSe5CCUGd/>)】
※第38回全国都市緑化くまもとフェア「くまもと花とみどりの博覧会～THE GREEN VISION 未来への伝言～」の略称



©2010熊本県くまモン
(くまもと花博特別衣装のくまモン、Leolaさん、大西一史 実行委員会会長(熊本市長))

水辺の動植物園 動植物園だより vol.31 [ホッキョクグマのマルル]



ホッキョクグマは、野生ではその名のとおりに北極周辺に26,000頭ほど生息していると推測されていますが、温暖化による生息地の氷の減少により絶滅が危惧されています。現在、日本国内の動物園や水族館では38頭のホッキョクグマが飼育されており、協力して保全の取り組みを行っています。

当園のマルル(メス)は2歳の時に札幌市円山動物園から来園して、現在9歳になります。まだまだおてんばな女の子で、お気に入りのおもちゃを投げたり、浮き輪にしたり、首にかけたりして遊びます。また、知能が高く、トレーニングを行い学習することで、麻酔をかけずに採血することができるようになったり、食べ物をおもちゃの中に入れて隠すと転がしたり、水を入れたりして器用に取り出すこともできます。

そのようなマルルが、今後、より動物本来の動きを出すことができるよう、飼育員として様々な工夫を行い、心身のケアに努めていきたいと思っております。

飼育員 北川 勇夫 

熊本城かわら版

熊本県護国神社南側梅園の梅が見頃を迎えます

熊本県護国神社南側にある梅園の紅白の梅の花(73本)が見頃を迎えます。
※旧細川刑部邸の梅園開放は行いません。



(熊本城総合事務所 ☎096-352-5900)

チャットボットを導入します

熊本城の観覧などについて、パソコンやスマートフォンから質問いただけるAIチャットボットを導入します。
熊本城公式ホームページで、24時間365日利用可能です。ぜひ活用ください。※2月初旬ごろ導入予定。

【熊本城ホームページ】
<https://castle.kumamoto-guide.jp/>



(熊本城総合事務所 ☎096-352-5900)

熊本博物館創立70周年記念 無料開館DAY

期間:2月4日(金)～2月6日(日)

熊本博物館は昭和27年2月に開館し、今年で創立70年を迎えます。これを記念して、上記の期間中は無料で博物館を開館します。
※プラネタリウム観覧料は別途必要



熊本博物館の沿革

熊本城時代
昭和27年(1952年)～昭和35年(1960年)
設立当時の博物館は、現在の天守閣前にあった旧第六師団司令部跡を館舎としていました。

勸業館時代
昭和36年(1961年)～昭和53年(1978年)
現在の花畑広場にあった熊本市勸業館の2階と3階を改造し、博物館として利用しました。

新館(現本館)時代
昭和53年(1978年)～
これまでの自然・人文系の展示に理工・プラネタリウムを併設した総合博物館として、熊本城三の丸地区に開館しました。平成30年12月には、展示内容をリニューアルし、再オープンしました。

(熊本博物館 ☎096-324-3500)